

品質向上への取り組み

グローバル競争で求められる品質の透明性

イノアックグループでは、お客様に安心・安全にご使用いただける製品の品質を保証し、ご満足いただける商品やサービスを提供するために、ISO9001を基本とした総合的なマネジメントシステムを導入し、お客様と連携して品質改善に取り組んでいます。近年では、品質不正問題が大きな社会問題となり、日本のモノづくりに対する信頼が揺らぐ中、世界的な流れとして製品開発・製造過程の透明性と責任を明確化する動きが強まっています。

基本方針

すべての顧客を満足させる品質づくり

- 品質コンプライアンスの徹底
- 新製品と重要品質商品の品質リスクマネジメント強化

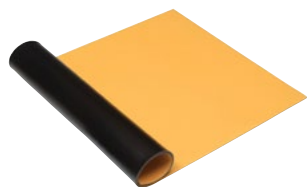
取り組み事例

1. 品質コンプライアンスの徹底

① 公的認定/認証の順守

イノアックグループの公的認定/認証を受けた製品は、グローバル品質保証本部で登録され、審査内容と製品が相違ないかを確認しています。また、定期的に登録内容と製品が相違ないかを点検しています。

防災認定商品(公益財団法人日本防災協会)



スラージェフロアアクション

2. 新製品と重要品質商品の品質リスクマネジメント強化

① 重要品質部品監査

社会的信用の失墜により会社の存続が危ぶまれるような、重大品質不具合を未然に防ぐことを目的として国内外の生産拠点に対して監査指導を実施して品質の向上に努めています。

② 新製品品質審査

新技術・新材料・新プロセス・新用途のいずれかに該当する製品に対する審査を実施して重大品質不具合の未然防止に努めています。

審査メンバー

社長、グローバル技術本部、
グローバル品質保証本部、
製品の技術・品証・営業担当者

審査内容

材質・製品特性・製品性能・構造・外観・類似品比較、
製品安全性・製造の安全性・品質リスク

③ 新規材料変更の管理

材料変更による不具合は重大品質不具合につながるため、不具合を未然に防止するため、材料変更の管理を実施しています。

材料変更はグローバル技術本部、担当事業部門の技術、品証責任者が審議し、グローバル品質保証本部が承認をする仕組みを実施しています。

3. QC・改善活動

イノアックでは、品質改善活動を自発的に小グループで行うQC(クオリティ・コントロール)サークル活動を1965年頃から行っています。この活動を世界に広め、イノアックグループ全体の活動を共有するため、1985年から「QC・改善世界大会」をグローバル規模で開催しています。

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。一部のブロックや事業所では感染対策を行いながら選考会をするなど、サークル活動を途切れさせないよう、活動を継続しています。